

第 123 回

火山噴火予知連絡会資料

2012年6月26日

東北大学大学院理学研究科

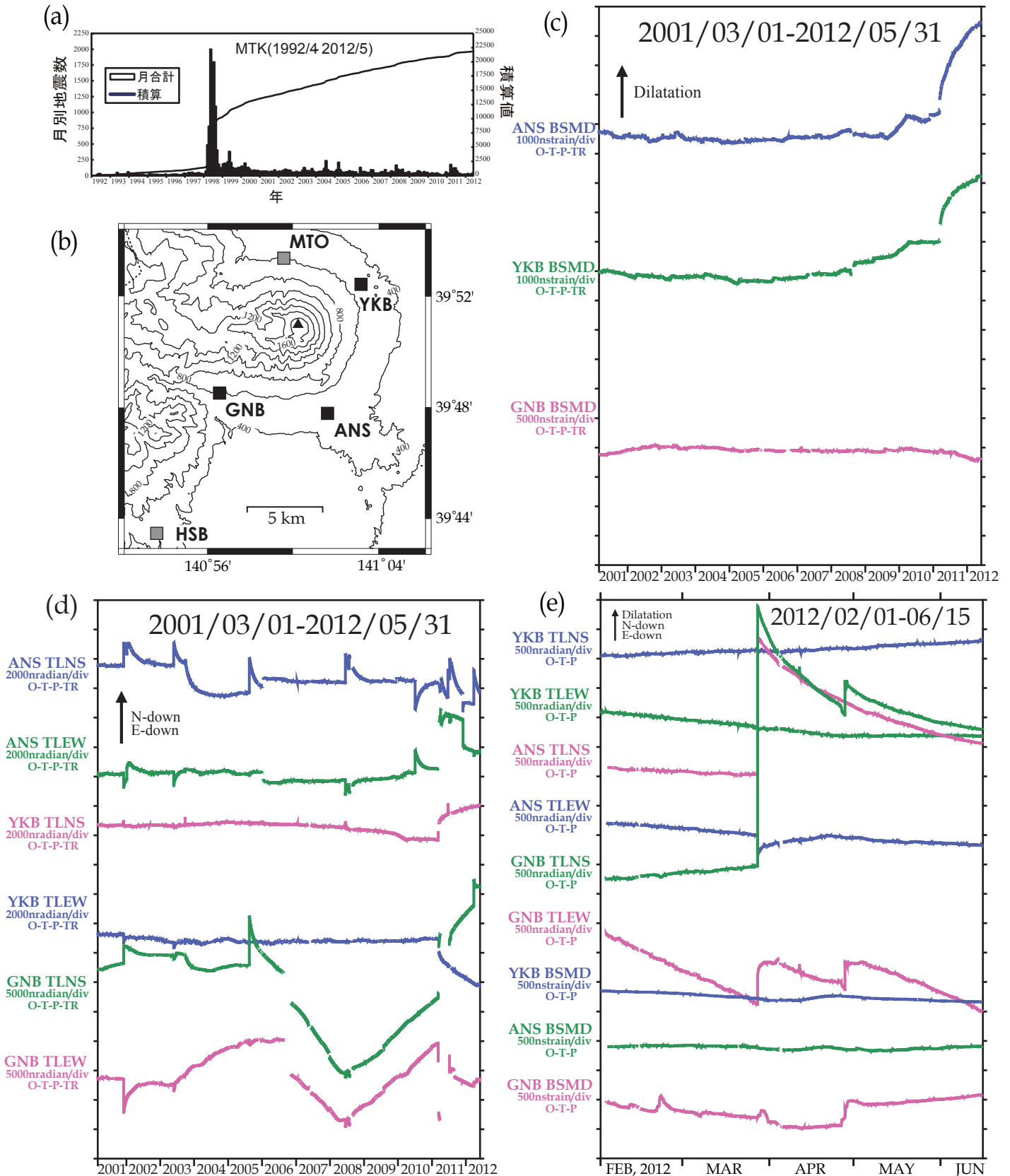


図 1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動連続記録。(a) 月別地震数の変化 (1992年4月～2012年5月), (b) 観測点配置, (c) 2001年3月～2012年5月における歪変動, (d) 傾斜変動, (e) 2012年2月1日～2012年6月15日の歪・傾斜変動。BSMD: 体積歪, TLNS: 傾斜南北成分, TLEW: 傾斜東西成分。(c), (d) は潮汐・気圧・トレンド補正済。(e) は潮汐・気圧のみ補正済。トビをともなう変動は大きな地震の影響あるいは降水の影響。2011年3月以降は3月11日M9.0と余震などの影響が大きいために不明確ではあるが、有意な火山性的変動はないと考えられる。

地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した。

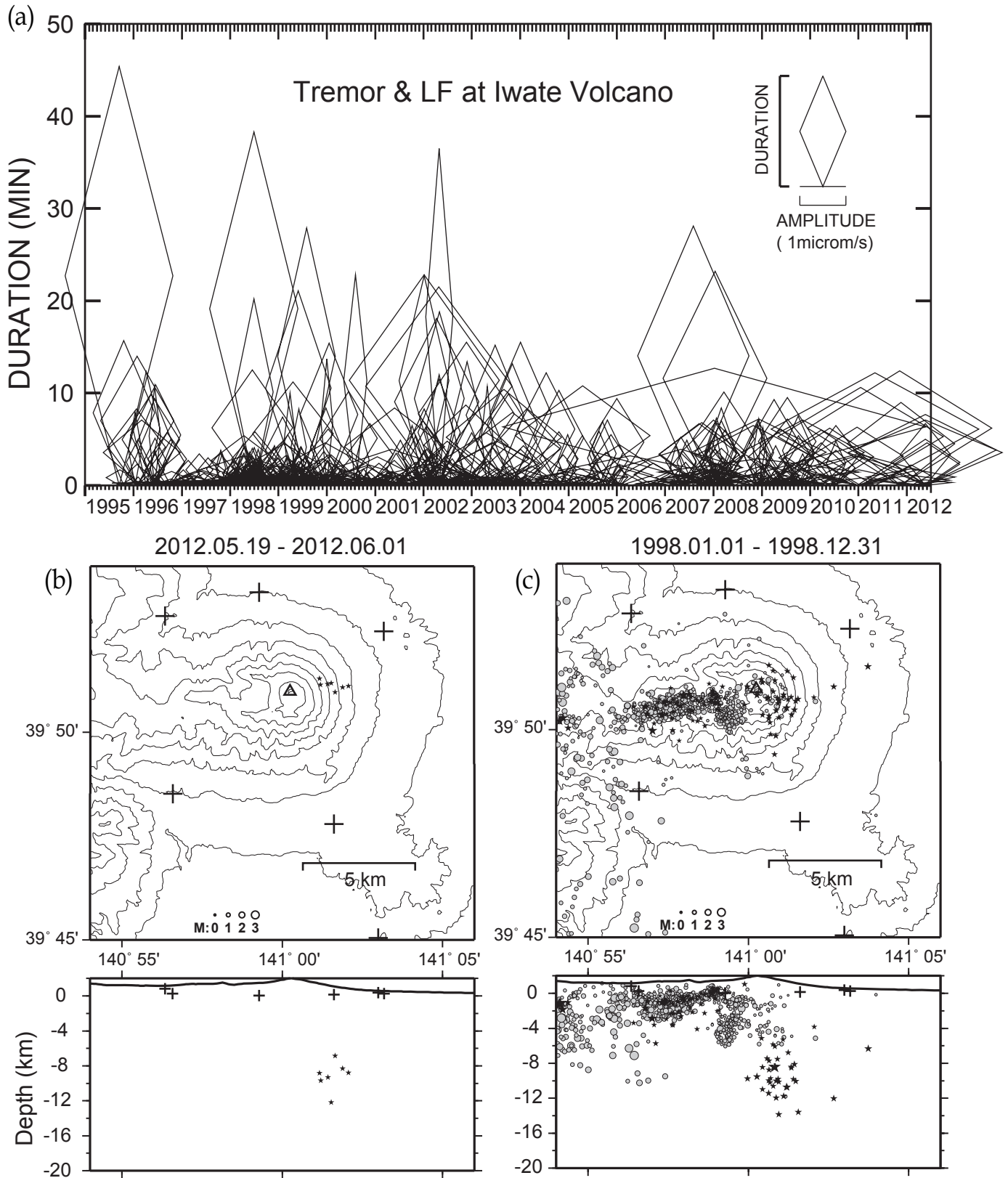


図1. 岩手火山における微動・低周波地震の活動。(a)微動・低周波地震活動の時間変化(1995年1月~2012年6月), ならびに, (b)低周波地震の震源分布(2012年5月~6月). 参考のために, (c)に1998年1月~12月の震源分布を示す. 黒★印が低周波地震, 灰色の丸が高周波地震. 2012年の活動は, 1995年から継続している一連の活動の一つと考えられる. 震源域は1998年の震源域の東北東端付近に位置している. 地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した.